

地域の絆づくり講座「子どもの未来を考えよう」を開講します

貧困、不登校、ひきこもりなど子どもや若者を取り巻く問題について、当事者から学び、理解を深める講座の受講生を募集します。

■日時

- ①令和5年11月27日（月曜日） 10時00分～11時30分
- ②令和5年12月18日（月曜日） 14時00分～15時30分
- ③令和6年1月29日（月曜日） 14時00分～15時30分

■場所

- ① 中津川市中央公民館（中津川市本町2-3-25）
- ②③ 中津川市ひと・まちテラス（中津川市新町2-34）

■各回のテーマ

- ①「子ども若者、困難女性の支援について学びましょう」
- ②「不登校や休学を経験した若者と学びましょう」
- ③「地域住民と子ども・若者の関わりについて模索します」

■講師等

- 助言・コーディネーター 荒井 和樹氏（中京学院大学専任講師）
- 講師 ①加藤 早耶香さん（全国こども福祉センター大学生ボランティア）
②今泉 翔太さん（愛知 PFS 協会大学生スタッフ）
③山本 義昌さん（全国こども福祉センター大学生ボランティア）
井田 真桜さん（全国こども福祉センター大学生ボランティア） ほか

■定員

各回100人（定員になり次第締切）

■申込方法

チラシにある二次元コードから、または、申込書を中央公民館へ提出

■参考

荒井 和樹氏（中京学院大学専任講師）プロフィール

- ・北海道苫前郡出身。元児童養護施設職員。社会福祉学修士。
- ・施設職員として在職中、児童相談所や施設型支援に繋がらない子どもたちと出会う。彼らとともに、街中に交流の拠点を築き、2012年に「全国こども福祉センター」設立。子ども若者を支援の客体ではなく、主体として迎え、約2万2千人に活動できる環境を提供。著書に『子ども・若者が創るアウトリーチ（せせらぎ出版）』がある。2021年から中京学院大学に赴任。

お問い合わせ先

文化スポーツ部 中央公民館 担当者：小池
電話：0573-66-4141

地域の絆づくり講座

子どもの未来を考えよう

～子ども・若者支援に携わる若者と学ぶ～

① 11/27(月)

子ども若者、困難女性の
支援について学びましょう

@中央公民館

② 12/18(月)

不登校や休学を経験した
若者と学びましょう

@ひと・まちテラス

③ 1/29(月)

地域住民と子ども・若者の
関わりについて模索します

@ひと・まちテラス

時間：① 10時～11時30分

②③ 14時～15時30分

定員：100名

申込：こちらから→



無料



助言・コーディネーター **荒井 和樹** (中京学院大学専任講師)

講師

① 加藤 早耶香 (全国こども福祉センター大学生ボランティア)

② 今泉 翔太 (愛知 PFS 協会大学生スタッフ)

③ 山本 義昌 (全国こども福祉センター大学生ボランティア)

井田 真桜 (全国こども福祉センターボランティア) 他

主催・問合・申込 / 中津川市中央公民館 中津川市本町 2-3-25
TEL:0573-66-4141 FAX:0573-66-6777



「子どもの未来を考えよう」申込書

ご住所

お名前

お電話

◎講師紹介

1. 加藤 早耶香さん（全国こども福祉センター大学生ボランティア）2000 年生

高校卒業までの18年間、中津川市で育ちました。中学生の頃、学校に定期的に来たスクールカウンセラーさんに憧れて、心理学部を目指すようになり、東海学園大学に入学、様々な経験を通して、助けてと言えない人に対して自分から寄り添える人になりたいと思うようになり、大学の先生に「全国こども福祉センター」を紹介していただきました。そこで福祉や社会福祉士という資格について知り、東海学園大学卒業後、日本福祉大学通信教育部に編入して社会福祉士資格取得の勉強をしています。

2. 今泉 翔太さん（愛知 PFS 協会 大学生スタッフ）2001 年生

高校1年生の夏休み明けから休みがちになり、2年生に進級後も欠席が続き、登校は出来なかったものの、卒業したいと考え休学。翌年から復学、福祉や医療の支援を受けながら進級し、2020年3月に高校を卒業しました。社会福祉士と教員免許の取得を目指して、日本福祉大学へ入学。現在は学習支援や居場所、家庭訪問型相談支援で子どもたちと関わっています。

3. 山本 義晶さん（全国こども福祉センター大学生ボランティア）2002 年生

名古屋市出身、東海学園大学大学生。

大学の心理学の授業で「全国こども福祉センター」のアウトリーチ活動の話を聞いて興味を持ち参加しました。高校生の時、部活動で居心地の悪さや悩みを抱え、問題を起こしてしまったこともあります。もっとはやく、センターのような若者支援活動に出会えていたらと感じています。この経験から、誰かの居場所を作ってあげられることを目標に、声かけ活動を続けています。

4. 井田 真桜さん（全国こども福祉センターボランティア）2002 年生

愛西市出身。高校生のとき、「全国こども福祉センター」のボランティアに声をかけられ、自身も活動に参加するようになる。ボランティア活動歴4年。年間2千人以上を超えるボランティアの受け入れや事務所の管理運営、活動環境の整備を行う。

◎助言者・コーディネーター紹介

荒井和樹先生（中京学院大学専任講師）1982 年生

北海道苫前郡出身。元児童養護施設職員。社会福祉学修士。

施設職員として在職中、児童相談所や施設型支援に繋がらない子どもたちと出会う。彼らとともに、街中に交流の拠点を築き、2012年に「全国こども福祉センター」設立、2013年に法人化する。子ども若者を支援の客体ではなく、主体として迎え、約2万2千人に活動できる環境を提供。著書に『子ども・若者が創るアウトリーチ（せせらぎ出版）』がある。2021年から中京学院大学に赴任。